

令和7年度少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援
【メニュー2：複数大学等連携】 計画書【連携大学毎（代表校含む）】

学校法人及び大学			
法人番号	421004	学校法人名	九州文化学園
学校コード	A01	学校名	長崎国際大学
自大学の配分割合			40 %

1. 事業内容（4ページ以内）

（1）連携大学毎の実施体制・連携事業における役割

（1－1）学校運営面における取組計画

本事業の最大の柱の一つは、連携大学全体で「西九州アライアンス・デジタル共通基盤」を構築し、徹底した経営効率化を追求することにある。まず、事務業務のDX化を最大限に進め、その成果を最大化できるよう事務職員的能力向上を徹底的に図る。具体的には、日常的な定型業務や単純作業にはRPA（ロボットプロセスオートメーション）等のデジタル技術を積極的に導入し、業務の簡素化と効率化を恒常的に推進する。これにより、事務職員はより高度で専門的な業務に集中することが可能となり、組織全体の生産性向上に繋がる。

また、連携校間で基幹教員制度を柔軟に活用し、教員の相互活用を推進することで、人件費を抑制しながらも多様な専門分野の授業を提供し、教育の質向上に貢献する。

さらに、3大学が共同で広報活動を行う場を設けることで、広告費の削減とターゲット層へのより効果的な情報発信を両立させる。教育・研究に必要な大学用品についても共同購入システムを構築し、スケールメリットを活かしたコスト削減を図り、効率的な学校運営体制を確立する。

（1－2）教学面における取組計画

本事業のもう一つの重要な柱は、福祉専門職教育の連携強化である。この目的を達成するため、本学は連携大学と協同して以下の取り組みを実施する。まず、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士養成課程において、地域社会のニーズを深く反映した共通シラバスを開発し、連携教育の強固な基盤を確立する。これにより、学生は標準化された質の高い教育を受ける機会を得ることができる。

次に、学生の国家試験合格率向上を目指し、3大学が共同で国家試験対策プログラムを実施する。これは模擬試験や特別講義などを共同で行うことで、教育的価値と大学の魅力を高める重要な施策である。

また、共同授業やプログラムを通じて多職種連携教育（IPE）を深化させ、学生が他大学の学生と交流し、将来の多職種連携を視野に入れた実践的な学習経験を積む機会を創出する。加えて、3大学間の授業履修および単位取得の互換制度を確立し、学生が各大学の優れた教育資源を自由に活用できる環境を整備する。

（2）大学等における経営改革に関する計画

本事業は、「西九州アライアンス・デジタル共通基盤」の構築を通じて、長崎国際大学を含む連携大学の経営体質をより強靱なものへと転換し、持続可能な経営基盤の強化を目指すものである。昨年度の財務計画書では、計画期間中に収容定員充足率を100%まで向上させ、経常収支差額がプラスで推移する見込みが示されていた。本計画においても、学校運営面で推進する事務業務のDX化、教員の相互活用、共同購入といった施策を通じて、人件費や管理費を削減し、強固な財務基盤を維持・強化する。これにより、経

令和7年度少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援
【メニュー2：複数大学等連携】 計画書【連携大学毎（代表校含む）】

営効率化によって生み出された財源を教育の質向上や学生支援に再投資するサイクルを確立する。